



## 様々な人、もの、ことから豊かに学ぶ

校長 須貝 克徳

運動会の実施に続き、6月10日、11日は、6年生が、長岡市、燕市、新潟市への修学旅行に行ってきました。昨年度から、次年度は実施できるかどうか不安があったことと思いますが、感染状況も落ち着いてきたタイミングで、無事に実施できたことは何よりです。今後も引き続き、感染予防を徹底し、子どもたちの豊かな学びを実現していきます。



さて、豊かな学びは、学校の中だけで実現できるものではありません。子どもたちは、主に生活科や社会科、総合的な学習の時間で、学校の外に出て、様々な人、もの、ことと関わることで多くのことを学んでいます。

修学旅行に行った6年生は、コンピュータ、デザイン、マンガアニメ、ペットの専門学校のコース別見学、自然科学館、長岡戦災資料館見学、燕の洋食器の磨き体験等、普段経験できない多くのことを経験することができました。

3年生は、町歩きや町探検で、久知八幡宮や、姫崎灯台、仏舎利塔等、様々な場所へ出かけ、施設の特色や、地域の行事、催事の由来等について学んできました。行く先々で、地域の方や、専門家の方からたくさんのお話をいただきました。

4年生は、久知河内ホテルの会の方から、様々な質問に答えていただきました。久知川にも昔、ホテルがたくさんいたこと、今もホテルの住める環境を取り戻そうと活動を進めていること等についてのお話を聞くことができました。

5年生は、米作りの学習を行いました。教科書で学ぶだけでなく、JAの方から生産の工夫や努力についてのお話を聞く、地域の方から学校田をお借りして実際に田植えを経験する、農家の方から最新の田植え機を使っての田植えの様子を見せていただくなど、様々な機会を通して学びを深めることができました。

このように、子どもたちの学びは、様々な人、もの、ことに支えられています。特に地域の方からは、学校の教育活動にたくさん関わっていただき、格別なご協力をいただいています。子どもたちの校外学習に同行する機会があるのですが、地域の方や、保護者の方から、「こんにちは」「何年生?」「何の勉強に行くの?」「がんばってね」等、温かい言葉をたくさんいただけることも、子どもたちの学びの意欲につながっています。

実際に現地へ足を運び、本物の人、もの、ことに触れたり、五感を通して体験したりすることを通して、子どもたちは、ますます学ぶ意欲を高めたり、生きた知識や技能を身に付けたりすることができます。また、自分たちの暮らす地域の様々な人、もの、ことに触れ、思いを巡らすことで、地域のよさを感じ、愛着を深めていきます。今後も、このような学習がますます充実するよう、内容や方法を工夫していきます。